

Lilycolor

2025年12月期
決算説明資料

リリカラ株式会社





1. 事業の報告

2025年12月期通期実績 P/L

Lilycolor

2024年12月期

2025年12月期

2月13日付
(百万円)

	2024年12月期							2025年12月期						
	1Q	2Q	上期合計	3Q	4Q	下期合計	通期合計	1Q	2Q	上期合計	3Q	4Q	下期合計	通期合計
売上高	8,427	8,289	16,716	8,632	8,455	17,086	33,803	7,849	7,515	15,365	8,287	9,555	17,842	33,207
売上総利益	2,700	2,494	5,194	2,364	2,662	5,027	10,220	2,616	2,633	5,249	2,882	2,988	5,870	11,119
	32%	30%	31%	27%	31%	29%	30%	33%	35%	34%	35%	31%	33%	33%
販管費	2,402	2,976	5,378	2,433	2,186	4,619	9,997	2,535	2,893	5,427	2,476	2,417	4,893	10,319
営業利益	297	-482	-185	-69	476	407	222	82	-259	-178	406	571	978	800
	4%	-6%	-1%	-1%	6%	2%	1%	1%	-3%	-1%	5%	6%	5%	2%
当期純利益	163	-368	-206	-68	385	317	111	27	-173	-146	330	339	669	523

- ・ 売上▲6億円→スペースソリューション事業が前年に大型案件があったため▲21.4億円
一方インテリア事業は値上げの効果で+4.9億円、不動産事業+10.6億円と売上を牽引
- ・ 不採算工事案件などの解消で売上総利益は+9億円と大きく改善
- ・ 期初計画(10億円)には未達成となったが、前年と比べ大幅に営業利益は改善

※当事業年度より「商品見本帳に係る会計処理」に係る会計方針の変更を行っており、2024年12月期に係る各数値については、遡及修正後の数値となっております。

事業のご報告：インテリア事業

Lilycolor

2025年12月期 概要：

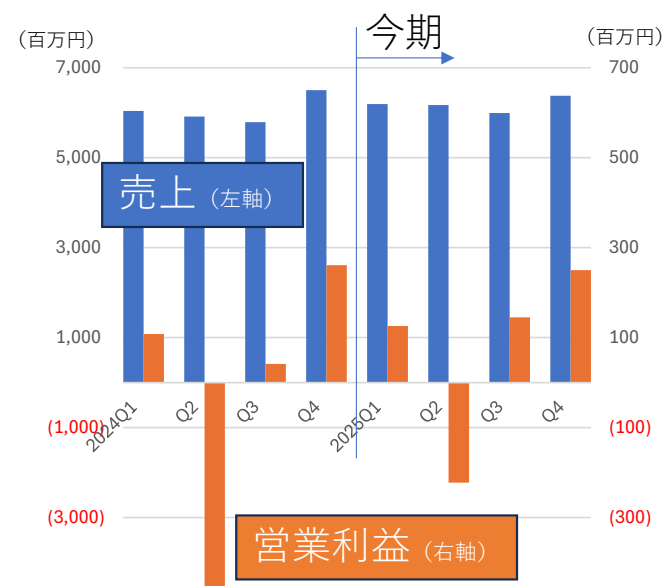
- ・ 4月より新規住宅着工件数の落ち込みで市況悪化
- ・ 壁紙出荷数量は前年比で微減となった
- ・ 壁紙を中心に価格改定を行い売上は微増
- ・ 昨年より取り組んでいるシェア回復は一定の成果



2026年12月期 見通し：

- ・ 引き続きシェア回復の取組み強化
- ・ 経費削減など経営体制の強化

インテリア事業
売上、営業利益の四半期推移

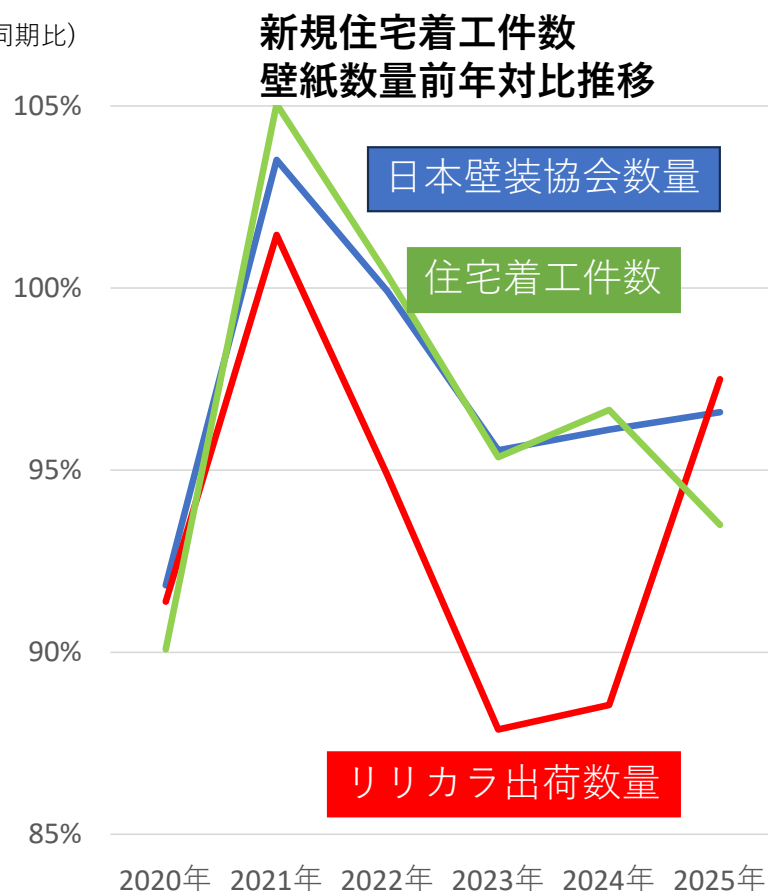


※当事業年度より「商品見本帳に係る会計処理」に係る会計方針の変更を行っており、2024年12月期に係る各数値については、遡及修正後の数値となっております。

事業のご報告：インテリア事業

Lilycolor

(前年同期比)



市況：

2025年4月1日から施行された「建築基準法」
「建築物省エネ法」の改正により、新規住宅着工
件数が74万戸（昨年対比93%）と悪化
日本壁装協会出荷数量も97%と昨年を下回った

- ・ 市況は依然として厳しい状況
- ・ シェアは下げ止まった状態

2026年は住宅着工件数の反動増が
見込まれるので、数量は下げ止まる
見込み

事業のご報告：インテリア事業

Lilycolor

リリカラショールーム
東京・大阪・福岡で展開中

さらに要望の多かった
札幌・仙台・横浜・広島を追加
お客様に満足いただくため積極的に投資を行っていく



事業のご報告：スペースソリューション事業

Lilycolor

2025年12月期 概要：

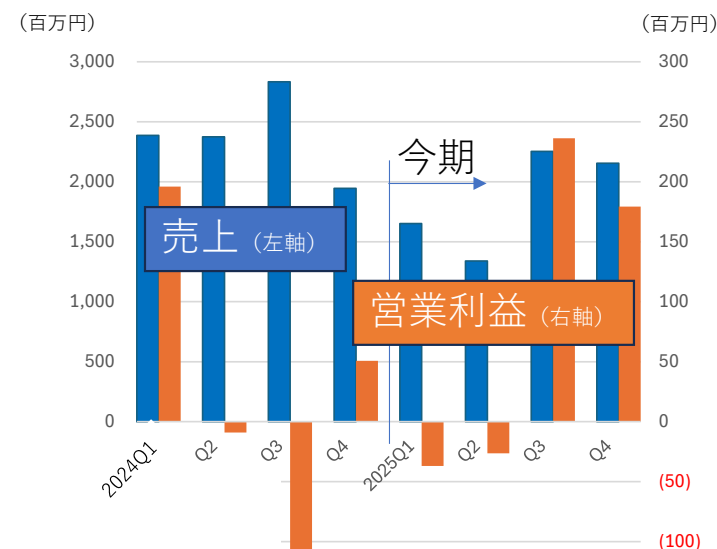
2024年の工事損失に伴う管理体制の再構築などが完了し収益性が回復
案件獲得強化も進み、過去最高水準※の営業利益となった。



2026年12月期 見込み：

人材確保などを目的とした企業のオフィス環境の改善の動きが依然として好調との認識
PMなどの付加価値を強化し粗利率の改善に取り組む

スペースソリューション事業
売上、営業利益の四半期推移



※過去20年で最高額

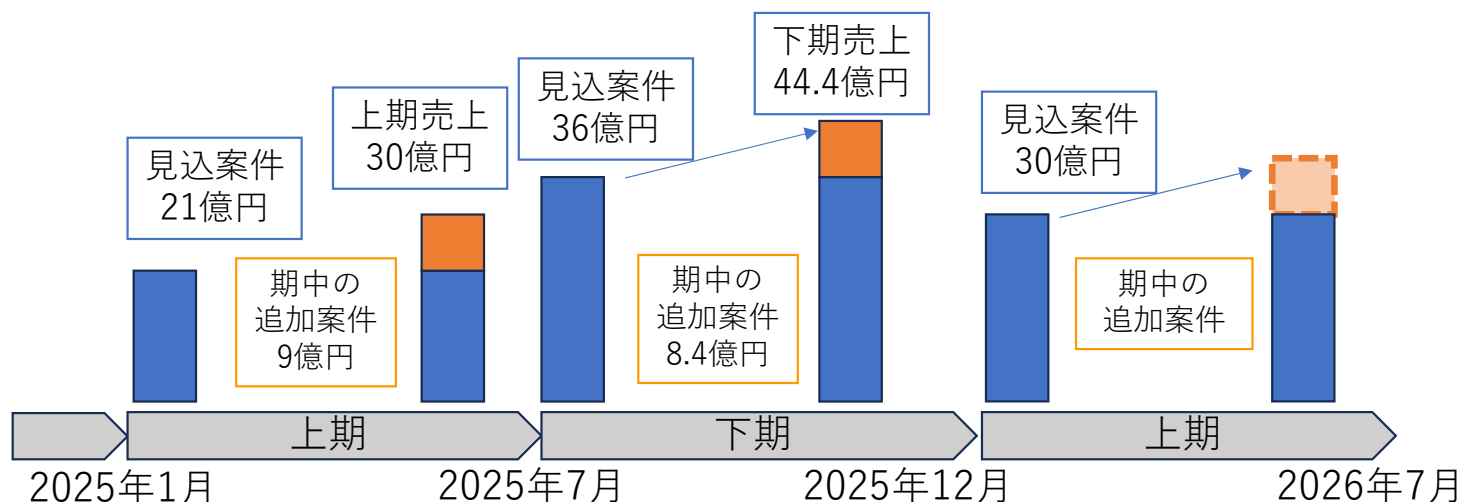
事業のご報告：スペースソリューション事業

Lilycolor

2025年1月時点での 上期施工の見込み案件：21億円
→上期実績：30億円（上期中の追加案件を含む）

2026年1月時点での 上期施工の見込み案件：30億円

※前年対比+9億円と好スタート



市場は堅調に推移
売上の管理体制の構築がほぼ完了
引き続き粗利率改善に取組み

事業のご報告：不動産投資開発事業

Lilycolor

2024年から開始した不動産投資開発事業

- ・開発案件（第1号案件）
→売買契約完了、11月末に決済・引渡し完了
- ・開発案件（第2号案件、2026年秋に完成見込み）
→2025年10月に売買契約完了
2026年秋に完成、決済・引渡し予定
- ・バリューアッド案件（江戸川区）
→売買契約見込み



第3号開発案件(2027年末売却予定)に向け活動中
利益への貢献も大きく、新たな事業の柱となる見込み

マンションシリーズ名： LILYFORT（商標登録済）



第1号開発案件
LILYFORT板橋大山



第2号開発案件
LILYFORT吾妻橋



2. 中期計画の進捗状況

中期経営計画の進捗報告①

Lilycolor

当初の最終年度(2026年)目標
売上総利益135億円
営業利益 20億円

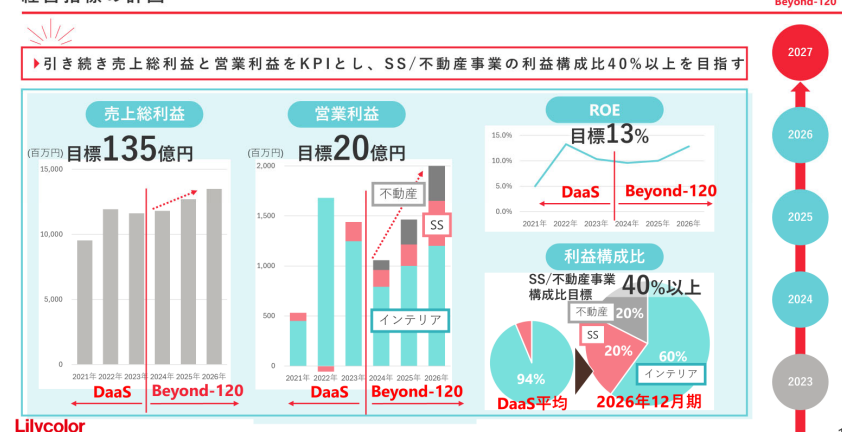
修正目標
営業利益 10億円

中期3ヵ年の計画の数値目標の半分に止まる見込みであり
経営として極めて重く受け止め、抜本的な改革に着手する

- ・ 固定費構造の見直しおよび徹底した生産性向上
- ・ 利益率を重視した事業ポートフォリオの再構築
- ・ 販売体制改善および生産性向上施策のスピード感ある実施
- ・ 経営体制の在り方の検証および機動的な組織運営の実行

株主還元に関しては、配当方針を維持する考えではありますが、財務健全性とのバランスを踏まえつつ、持続可能な利益体質の確立を最優先課題として取り組んでまいります。

経営指標の計画



2024年2月発表、中期経営計画「Beyond-120」より抜粋

中期経営計画の進捗報告②

Lilycolor

新中期経営計画 Beyond-120



▶ 創業120周年に向けて、次世代につながる持続的な成長の基盤を作り、永続的な企業価値の向上に取り組む

次世代成長に向けた Beyond-120の取り組み

事業ポートフォリオの再構築

成長に向け新事業展開

- ✓ インテリア事業の収益改善
- ✓ スペースソリューション事業のさらなる伸長
- ✓ 不動産への事業領域拡大

資本コストを意識した経営

株主・投資家との対話を強化

- ✓ ROEの向上
- ✓ 株価の安定によるリスクプレミアムの低減
- ✓ 株主還元方針の見直し
- ✓ IR活動の強化

人財への積極的な投資

エンゲージメントの向上

- ✓ 人材育成、外部人材の活用
- ✓ 女性活躍、多様性への取り組み
- ✓ 働きやすい環境・制度の見直し

環境・社会課題への取り組み（リリカラVision2030：事業活動を通じてSDGsの達成に貢献する）

- ①ポートフォリオ再構築：
既存事業が厳しいなか継続取り組み中
- ②資本コストを意識した経営：
株価安定に貢献
- ③人財への積極的な投資：
人事制度の見直し、育児休暇支援策導入、健康経営認証の取得など



3. 2026年計画

2026年 計画

Lilycolor

2025年12月期				2026年12月期計画			2月13日付 (百万円)
	上期合計	下期合計	通期合計	上期合計	下期合計	通期合計	昨年対比
売上高	15,365	17,842	33,207	16,400	19,600	36,000	108%
営業利益	-178	978	800	140	860	1,000	125%
当期純利益	-146	669	523	30	640	670	126%

※販売管理費（見本帳費）が上期に偏重することに伴い
営業利益が下期に偏重となる見込みであるものの
売上総利益の上期/下期バランスは偏重なく伸長を見込む

営業利益10億円を目標とする

まだ誰も気づいていない空間の魅力で、
人の心を彩り続ける。



お問い合わせ先

リリカラ株式会社 経営企画室
電 話 03-3366-7845
ly.ir.business@lilycolor.co.jp

リリカラ株式会社